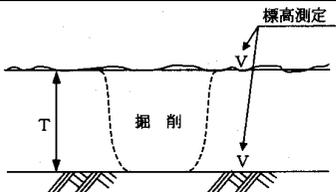
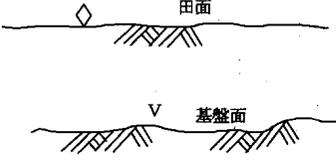
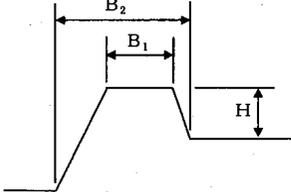
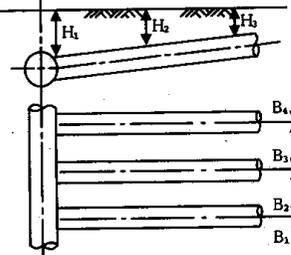
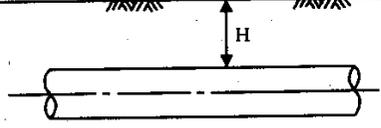


単位：mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値		
9	1	3	1	1	表土扱い	厚さ T	- 20%		
						2	基盤整地、 田面整地	基準高 V (指定したとき)	± 150
								均平度	± 50
				3	畦畔工	高さ H	- 50		
						幅 B	- 50		
				4	暗渠 排水工	1	吸水渠	布設深 H	- 75
								間隔 B	± 750
								施工延長	- 0.2% ただし 500m 以下 - 1,000
						2	集水渠	布設深 H	- 75
								施工延長	- 0.2% ただし 100m 未満 ± 200

測定基準	測定箇所	適用
10a 当たり 3 点以上 (標高差測定又は試掘りによる。)		
各耕区毎に、150㎡ 当たり 1 箇所の割合で測定する。		1. 基準高は基盤面の高さとする。 2. 均平度は基盤面施工後及び表土埋戻し後に測定する。
施工延長おおむね 200m につき 1 箇所の割合で測定する。施工延長を示さない場合は、1 耕区につき 1 箇所の割合で測定する。		
上、下流端の 2 箇所を測定する。ただし、1 本の布設長がおおむね 100m 以上のときは、中間点を加えた 3 箇所を測定する。		
施工延長おおむね 50m につき 1 箇所の割合で測定する。		

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値			
9	1	7	11	1	道路工 (砂利道)	基準高 V (指定したとき)	± 1 5 0			
						幅 B	- 1 5 0			
						施工延長	- 0 . 2 % ただし 200m 未満 - 4 0 0			
				2	敷砂利	幅 B	- 1 0 0			
						厚さ T	- 4 5			
	2	3	2		改良山成	基準高 V (指定した時)	± 3 0 0			
						1	1	耕土掘り起こし	耕起深 T 野菜	- 1 5
									果樹	- 7 5
						2	テラス(階段畑)	法勾配 S	-	
								幅 B1	- 1 5 0	
耕起幅 B2	- 1 5 0									
		側溝幅 B3	- 7 5							
		側溝高さ H (指定したとき)	- 7 5							

測定基準	測定箇所	適用
<p>幹線道路は、施工延長 50m につき 1 箇所の割合で測定する。</p> <p>支線道路は、施工延長おおむね 200m につき 1 箇所測定する。</p>		<p>舗装を行うときは、道路工事を摘要する。</p>
<p>施工延長おおむね 50m につき 1 箇所の割合で測定する。</p>		
<p>基準高については切土部を 40m メッシュ地点で測定する。法勾配については 40m メッシュ線と切土法尻との交点で測定する。(測定間隔はおおむね 40m)</p>		<p>切土部のみ対象とする。</p>
<p>おおむね ha 当たり 10 箇所測定するほか、つぼ掘り 2 箇所 /ha</p>		
<p>テラス延長おおむね 100m 当たり 1 箇所測定する</p>		

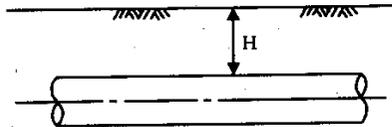
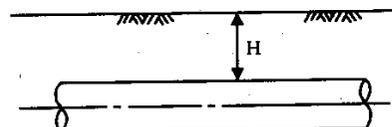
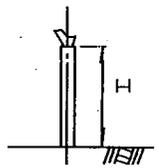
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値		
9	2	5	1	3	土壌改良	pH測定	± 0.5		
						6	道路工 (耕作道)	幅 B	- 150
								側溝幅 b	- 75
	側溝高さ H (指定した時)	- 75							
	7	1	排水路工	土水路	基準工 V (指定したとき)	± 100			
					幅 B	- 75			
					高さ H	- 75			
					施工延長	- 0.2% ただし 200m 未満 - 400			
	3	3			管水路基礎 (砂基礎等)	高さ H	± 30		
						幅 B	- 100		

単位：mm

測定基準	測定箇所	適用
おおむね 50a 当たり 1 箇所 (深さ 15cm) 改良散布後 2 週間以上経過して測定する。(試験方法・ガラス電極法)		地表から 15cm の土壌を柱状に採取し、良く混合する。
施工延長おおむね 100m 当たり 1 箇所測定する		
施工延長おおむね 50m につき 1 箇所の割合で測定する。		
施工延長おおむね 50m につき 1 箇所の割合で測定する。 上記未満は 2 箇所測定する。		基礎材が異なる場合は種類毎に測定する。 (畑地かんがい施設工)

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	
9	3	4			管水路(園内幹・支線水路)	埋設深 H	- 5 0	
						延長	±0.2% ただし 100m 未満 ± 200	
						漏水量	許容漏水量 以内	
						管水路(散水線)	埋設深 H	- 5 0
							延長	±0.2% ただし 100m 未満 ± 200
						スプリンクラー	ライザー高 H	± 7 5
吐出圧	± 1 0 %							

測 定 基 準	測 定 箇 所	適 用
施工延長おおむね 50m に 1 箇所以上測定する。 全線測定する。		(畑地かんがい施設工)
適宜 水張り泥はけ完了後、24 時間所定の水圧をかける。 パイプ・バルブその他機器類の性能を点検する。		(畑地かんがい施設工)
1 ブロックにつき 2 ~ 3 箇所測定する。		(畑地かんがい施設工)

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値		
9	3	4	1		硬質塩化 ビニール管	基準高 V	± 5 0		
						埋設深 H	- 5 0		
						中心線のズレ e	± 1 2 0		
						施工延長	- 0 . 1 % ただし 延長 200m 未満は - 2 0 0		
			2		強化 プラ スチ ック 複 合 管 布 設 工	B形、T形 C形 D形		基準高 V	± 3 0 被圧地下水 の有る場合 ± 5 0
								中心線のズレ e	± 1 0 0
								施工延長	- 0 . 1 % ただし 延長 200m 未満 - 2 0 0
								ジョイント間隔 Z	別表ア参照

測 定 基 準	測 定 箇 所	適 用
設計図書に示された基準高、あるいは埋設深、中心線のズレ（直線部）については施工延長おおむね 50m につき 1 箇所の割合で測定する。中心線のズレ（曲線部）については、おおむね 10m につき 1 箇所の割合で測定する。上記未満は 2 箇所測定する。		
基準高、中心線のズレ（直線部）については、施工延長おおむね 50m につき 1 箇所の割合で測定する。中心線のズレ（曲線部）についてはおおむね 10m に 1 箇所の割合で測定する。上記未満は 2 箇所測定する。ジョイント間隔については、1 本ごとに測定する。	<p>基準高 (V) は、V₁、V₂のいずれか一方を測定し管理する。</p>	Vは管底 (V ₁) を原則とするが、径 1,350mm 以下又は、管底での測定作業が困難な場合は、管頂 (V ₂) でもよい。又、測定時間は管底の場合は埋戻し後に行うものとする。

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値			
9	3	4	3		A型 K型 U型 T型	基準高 V	± 30 被圧地下水 の有る場合 ± 50			
						中心線のズレ e	± 100			
						施工延長	- 0.1% ただし 延長 200m 未満 - 200			
						ジョイント間隔 Z	別表イ参照			
								管水路 PC管 RC管	基準高 V	± 30 被圧地下水 が有る場合 ± 50
									中心線のズレ e	± 100
									施工延長	- 0.1% ただし 延長 200m 未満 - 200
									ジョイント間隔 Z	別表ウ参照

測定基準	測定箇所	適用
<p>基準高、中心線のズレ（直線部）については、施工延長おおむね 50m につき 1 箇所割合で測定する。中心線のズレ（曲線部）についてはおおむね 10m に 1 箇所割合で測定する。上記未満は 2 箇所測定する。ジョイント間隔については、1 本ごとに測定する。</p>	<p>基準高 (V) は、V₁、V₂のいずれか一方を測定し管理する。</p>	<p>Vは管底 (V₁) を原則とするが、径 1,350mm 以下又は、管底での測定作業が困難な場合は、管頂 (V₂) でもよい。又、測定時間は管底の場合には埋戻し後に行うものとする。</p>
<p>基準高、中心線のズレ（直線部）については、施工延長おおむね 50m につき 1 箇所割合で測定する。中心線のズレ（曲線部）についてはおおむね 10m に 1 箇所割合で測定する。上記未満は 2 箇所測定する。ジョイント間隔については、1 本ごとに測定する。</p>	<p>基準高 (V) は、V₁、V₂のいずれか一方を測定し管理する。</p>	<p>Vは管底 (V₁) を原則とするが、径 1,350mm 以下又は、管底での測定作業が困難な場合は、管頂 (V₂) でもよい。又、測定時期は管底の場合には埋め戻し後に行うものとする。</p>

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	
9	4	3			堤体工	基準高	± 1 0 0	
						堤幅 W	- 1 0 0	
						法長 L	- 1 0 0	
						施工延長	- 2 0 0	
	4	4				取水施設工 同上付帯構造物(土砂吐ゲート等)	基準高	± 3 0
							厚さ T	- 2 0
							幅 B	- 3 0
							高さ H	- 2 0
							中心線のズレ e	直線部 ± 5 0 曲線部 ± 1 0 0
							施工延長(又は長さ)	- 1 5 0
スパン長 L	直線部 ± 2 0 曲線部 ± 3 0							

測 定 基 準	測 定 箇 所	適 用
<p>線的なものについては施工延長 おおむね 2 0 m につき 1 カ所の 割合で測定する。 上記未満は 2 箇所測定する。</p>		<p>鋼土の幅は盛土 高 1 m 毎に管理 する。</p>
<p>基準高、厚さ、幅、高さ、中心 線のズレについては、施工延長 1 スパンにつき 1 箇所の割合で 測定する。 箇所単位のものについては適宜 構造図の表示箇所を測定する。</p>		<p>底樋等の基準高 は管底を原則と する。</p>

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値
9	4	5	2		洪水吐工	基準高	± 3 0
						厚さ T	± 2 0
						幅 B	± 3 0
						高さ H	± 2 0
						中心線のズレ e	直線部 ± 5 0 曲線部 ± 1 0 0
						施工延長(又は長さ)	- 1 5 0
						スパン長 L	直線部 ± 2 0 曲線部 ± 3 0

測 定 基 準	測 定 箇 所	適 用
<p>基準高、厚さ、幅、高さ、中心線のズレについては、施工延長1スパンにつき1箇所の割合で測定する。</p> <p>箇所単位のものについては適宜構造図の表示箇所を測定する。</p>		